

郷土種子を活用した丹沢登山道の植生再生の取組み

中日本高速道路株式会社は、「環境・持続可能社会への貢献」として、環境に配慮した取り組みを実施しています。

東京支社では、神奈川県の丹沢山地において、登山者の増加や鹿の採食により裸地化した登山道周辺の植生を再生させる活動を、神奈川県、地元NPO団体の方々と3者で行ってきました。植生の再生には、高速道路の建設事業で培われた地域性苗木育成の技術を生かし、鹿に食べられづらい植物を種や地下茎ちかけいから育てて苗にし、植栽しています。本活動は2011年より継続し、これまでに約3,000株を植栽しました。

植栽時、約2～5cm程度であった苗は、現在、20～40cm程度までに成長し、登山道周辺の植生は徐々に回復してきています。

8月6日（木）には神奈川県、地元NPO団体の方々と共に、さらに2,000株の苗を植栽する予定です。今後も引き続き本活動を継続し、地域環境の保全活動に取り組んでまいります。

■活動内容

鹿に食べられづらいとされるタイアザミ、ヤマカモジグサなどの草本類の種や、ミヤマクマザサの地下茎ちかけいを採取し、苗になるまで育成した『地域性苗木』による植栽を実施。

時期	活動内容	実施者	備考
2011年度	ミヤマクマザサの地下茎採取	3者協働	緑化技術センターで育成
2012年度	草本類植栽作業（約600株）	3者協働	
	草本類種子採取	NPO法人	緑化技術センターで育成
	ミヤマクマザサの地下茎採取	3者協働	緑化技術センターで育成
2013年度	草本類植栽作業（約300株）	3者協働	
	草本類種子採取	NPO法人	緑化技術センターで育成
2014年度	ミヤマクマザサの地下茎採取	3者協働	緑化技術センターで育成
	草本類植栽作業（約2,000株）	3者協働	
	草本類種子採取	NPO法人	緑化技術センターで育成
	ミヤマクマザサの地下茎採取	3者協働	緑化技術センターで育成
2015年度 8月6日 実施予定	草本類、ミヤマクマザサ植栽作業 （約2,000株）	3者協働	

■NEXCO中日本の役割

当社の関連会社であるNEXCO 総研 緑化技術センターでは、樹木の種子をより多く発芽させるための水分や温度の管理など、長年の高速道路建設事業で培った技術を持っています。これを生かし、丹沢山地から採取した植物の種や地下茎^{ちかかい}を、緑化技術センターで苗になるまで育成しました。自然界の厳しい環境下では安定した発芽を確保することは難しいですが、緑化技術センターの技術を用いて育った苗を、再び丹沢山地の登山道へ植栽するものです。

■今後の展開

当社は、今後も本活動を通じて丹沢の自然再生に貢献していくとともに、高速道路以外の他の地域においても、地域環境の保全活動に積極的に取り組んでまいります。

■活動の概要

【1. 種取り・地下茎採取】

3者（神奈川県、地元NPO団体、NEXCO 中日本）協働で実施



丹沢山地で種子・地下茎を採取

【2. 地域性苗木の育成】

緑化技術センターで実施



採取した種子等を緑化技術センターで苗に育成

【3. 植栽の様子】

3者（神奈川県、地元NPO団体、NEXCO 中日本）協働で実施



育った苗を丹沢山地の登山道に植栽

植栽時

植栽約1年後

植栽した植物が成長